

## 令和5年度第3回港北高校学校運営協議会 議事録

### 1 資料

- (1) 令和5年度港北高等学校学校運営協議会委員名簿
- (2) 令和5年度学校評価報告書実施結果
- (3) 令和5年度不祥事ゼロプログラム検証結果
- (4) 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）（案）
- (5) グランドデザイン（案）

### 2 学校からの報告事項

#### 1 令和5年度報告

- (1) 令和5年度学校評価報告書実施結果

##### 【学習支援グループ】

科目選択は滞りなく終了した。生徒の希望傾向を見て、選択の組み合わせを来年度以降も引き続き検討していく。

##### 【生徒支援グループ】

かながわ子どもサポートドックを年に2回実施した。その結果をスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが分析したが、深刻なケースは少なかった。システム上の誤入力が多く見られた。基本的な生活習慣をさらに発展させていきたい。

##### 【進路支援グループ】

1, 2年での記述模試実施は本年度で3年目となり、事前指導から事後指導までシステムがうまく機能してきた。

2年生での志望理由書模試も同様に3年目だが、こちらは生徒が第一志望を確定できず、仕上がりが思わしくなかった。来年度以降、内容を精査していきたい。

前回、若い教員による進路指導の実施というアイデアをいただいた。その後、先輩セミナーを開催した。先輩が対面で在校生に話したが、1, 2年生は熱心に聞いていた。引き続き、生徒の進路実現に向けて支援していきたい。

##### 【開発・広報グループ】

授業力向上に向けた取組の成果として、探究的な学習を取り入れた授業に向けた意識が校内でめばえた。しかし、課題の設定が難しく、来年度以降の課題となった。「思港Ⅱ」に向け、教員の指導力向上を図りたい。

ホームページは本年度115回の更新を行った。見せ方や電子申請システムの利用で工夫を重ね、かなり改善されたように感じている。また、生徒作成の部活動紹介動画を本日アップロードしたので、ぜひご覧いただきたい。引き続き積極的な情報発信を行っていく。

本年度実施できた太尾小学校との連携を続けていきたい。

### 【活動支援グループ】

生徒会選挙や生徒総会をオンラインで実施した。一方で、全校で集まる機会が少なくなってきたという懸念もある。行事の最適化を生徒とともに考えていく。

規定集として服装規定のあり方を生徒に投げかけている。コロナで教員が行わざるを得なかった部分もあるが、現在は生徒の主体性を活かしている。

陸上部からは全国大会に出場した選手もおり、放送部や書道部も全国総合文化祭に出場した。部活動や学校行事のあり方を引き続き検討していく。

### (2) 令和5年度不祥事ゼロプログラム検証結果

県の取組方針に基づき、本校で行動計画を考えて取り組んだ。

ヒヤリハット事例としては、定期試験時、配付物に抜けがあった。

財務事務調査において、2年連続同じことを指摘された。

働き方改革について、一部職員の時間外労働多いので、来年度以降、解消が課題となる。

ストレスチェックでは、回答率ほぼ100%で、結果も良好であった。

ワークライフバランスも推進していく。「ワークライフインテグレーション」や「ワークインライフ」という考え方で、心身の健康について考えていきたい。職場の風通しも良くしていきたい。

## 2 令和6年度予定

### (1) 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）（案）

#### 【生徒支援グループ】

必ずしも成功している人ばかりではない。ケアの必要な生徒もいる。

#### 【進路支援グループ】

生徒に自身のキャリアについて考えさせ、自己実現に必要な力を身につけさせたい。特に1年次から目標を持って努力する力をつけさせたい。

入試方法の変化は激しいため、教員が相談に乗れるように体制を構築したい。

#### 【開発・広報グループ】

授業改善に引き続き取り組んでいきたい。

探究活動の充実と地域との連携推進にも取り組んでいく。

#### 【管理運営グループ】

ICT機器としてプロジェクターとスクリーンを各HR教室に配備したが、使用頻度が多く消耗している。整備が今後必要となる。

### 【活動支援グループ】

部活動休養日の計算方法に変更があった。これまで平日 52 日と休日 52 日であった。本年度途中から年間で 104 日となった。

次年度は 9 月より、2 年間体育館を使用できない。外部との連携が必要となる。

### 【その他】

職員のワークライフバランスに取り組んでいく。

具体的な数値目標の達成に向けて取り組む。

生徒の安心・安全を確保するため、不祥事ゼロを目指す。

ヒヤリハットについても校内で共有していきたい。

### (2) グランドデザイン (案)

スクールミッションは教育委員会から提示されたもので、スクールポリシーとともにともに変更はないため、学校教育計画もほぼ変更なし。

引き続き、「自学力」を磨いていく。また、探究的な学習を発展させていく。

学校行事を主体的に行う。

ICT の活用・環境整備・充実化を行う。

グランドデザインの上半分のデザインは県からの指定で、下半分は独自のデザインとなっている。外部の方に見やすくわかりやすくすべく試みた。

## 3 学校関係者からの評価

- ・ 探究的な学習は小学校でも行っているが、準備が大変である。
- ・ 高校生には期待を寄せている。本年度はイベントの司会をしていただき、活気づいた。問題解決型学習として専門学校の学生が子育てアプリを開発してくれた例もあり、高校生の主体的・探究的な学びも地域で支援したい。
- ・ 近年、20 代～30 代の父親が育休を取るケースが増えており、様々な働き方の人 coming。幼児教育の授業においても活用していただきたい。
- ・ 幼児教育の授業では、小学校にもぜひ来ていただきたい。
- ・ 港北高校では、推薦入試の比率が多い。志望理由書や小論文指導を丁寧にしていただき、感謝している。近年の子供たちはスマホの利用で書くことに慣れていないので、引き続き力を入れていただきたい。

## 4 質疑

- ・ 体育館が使えない間はどうか。

→ 近隣の小中学校と連携していく。また、スポーツセンターも活用していく。

下駄箱を移動し、昇降口を卓球場の代替スペースとする。体育の授業が大変になってくる。

→ 雨天時の運動スペースがほとんどない。バスでスポーツセンターに行くのも難しい。

日中は小中学校を使用できないので、場所の確保が難しい。

・18歳選挙権になってどうなったか。

→模擬投票を実施した。消費者教育の一環で成人教育も行った。

・生徒の食いつきは変わったか。

→現代社会の課題には関心があるように感じている。

模擬投票は開票できないのが難点である。1ヶ月以上開封不可のため、フィードバックができない。

以上。